

本格焼酎を楽しむ空間や時間の魅力を発信するプロジェクト「焼酎のススメ。2020」との連動企画 “新宿ゴールデン街”に名称を統一した新看板を2020年12月1日に公開 ～街全体が一丸となって受け継いできた新宿ゴールデン街の文化を守る～

株式会社ビームス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：設楽洋）は、新宿、渋谷、京都で展開するBEAMS JAPAN事業の店舗と、BEAMS事業の九州エリア3店舗において、2020年12月1日（火）より、高橋酒造株式会社、三和酒類株式会社、薩摩酒造株式会社とコラボレーションし、焼酎への馴染みが薄い方々に向けて、本格焼酎を楽しむ空間や時間の魅力を発信するプロジェクト「焼酎のススメ。2020」を開催しております。

この度「焼酎のススメ。2020」との連動企画として、「新宿ゴールデン街商店街」に隣接する「新宿三光商店街」で掲出していた6ヶ所の看板が“新宿ゴールデン街”に統一されるための看板変更にあたり、「焼酎のススメ。2020」が、新看板のデザインを担当しました。新看板は、2020年12月1日(火)より順次設置が開始されます。



写真前列左から：新宿三光商店街振興組合 理事長 石川雄也様、花園街商業協同組合 理事長 柴田秀勝様、新宿ゴールデン街商店街振興組合 理事長 外波山文明様 / 後列左から：高橋酒造株式会社 専務取締役 高橋昌也様、三和酒類株式会社 常務取締役 門柳朋久様、株式会社ビームス 代表取締役社長 設楽洋、薩摩酒造株式会社 取締役 東京西支店支店長 本坊崇様

「焼酎のススメ。」は、高橋酒造株式会社の米焼酎「白岳KAORU」、三和酒類株式会社の麦焼酎「いいちこ」、薩摩酒造株式会社の芋焼酎「白波」のそれぞれの美味しさや奥深さに加えて、自由で楽しい焼酎がある時間の過ごし方を提案するために、2019年より開催し、今年が2回目となります。この度、「焼酎のススメ。2020」の連動企画として、「新宿ゴールデン街商店街」に隣接する「新宿三光商店街」で掲出していた“あかるい花園○番街”と書かれた4ヶ所と“まねき通り”と書かれた2ヶ所の計6ヶ所の看板が、“新宿ゴールデン街”に統一されるにあたり、新看板のデザインをBEAMSが担当しました。

新宿ゴールデン街とは、およそ2000坪ほどの狭い区画に低層の木造長屋が連なっており、290軒以上の小さなスナックやバーが密集している飲食店街です。この飲食店街を、「新宿ゴールデン街商店街振興組合」と「新宿三光商店街振興組合」の2つの商店街が、70年以上もの間、存続させてきました。しかし、2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により営業の自粛が続き、昭和文化が残る新宿ゴールデン街も、廃れていくのではないかと危惧されました。この状況を受け、2つの商店街が連携し、街全体で一丸となって新宿ゴールデン街の文化を守り抜きたいとの思いのもと、これまで異なる名称を掲出していた看板が、“新宿ゴールデン街”に統一されます。

スナックをはじめとしたお酒を楽しむ空間や時間の魅力を発信する「焼酎のススメ。2020」は、70年以上、日本のサブカルチャーやアングラ芸術を発信してきた「新宿ゴールデン街」が後世に続くことを願い、新看板のデザインを制作いたしました。旧看板のフォントを採用し、新宿ゴールデン街という名称の由来となった金貨をイメージした黄色を取り入れています。新看板では、新宿ゴールデン街に受け継がれるストーリーを表現し、文化人に愛されてきた飲み屋街を後世に残していきます。

■“新宿ゴールデン街”に看板を統一した背景

2020年4月、新型コロナウイルス感染拡大の影響で290軒以上の飲食店が営業を自粛。5月、短縮営業が可能になったお店もありましたが、ほとんどのお店ではバーやスナックとして登録しているため、お店を開けることができず、極めて困難な状況が続きました。そのため、70年以上の間存続させてきた昭和文化の残る新宿ゴールデン街も、廃れていくのではないかと危惧されました。

このような状況だからこそ、街全体で一丸となって新宿ゴールデン街の文化を守るため、これまで異なる看板を掲出していた「新宿ゴールデン街商店街」と「新宿三光商店街」が、“新宿ゴールデン街”の統一看板を掲出します。日本のサブカルチャーやアングラ芸術を発信してきた新宿ゴールデン街の魅力を発信し、お酒がある楽しい時間を大切にしたいと考え、その象徴となる看板のデザインを「焼酎のススメ。」プロジェクトが担当しました。新看板では受け継がれるストーリーを表現し、文化人に愛されてきた飲み屋街を後世に残していきます。

■BEAMS JAPAN プロジェクトリーダー 佐野 明政 コメント

『“焼酎=お酒”がある時間を大切にしたい』

BEAMS JAPANでは、高橋酒造、三和酒類、薩摩酒造と共に2019年に開催し好評だった、本格焼酎の楽しみ方を発信するプロジェクト「焼酎のススメ。」を本年も開催できることを嬉しく思います。企画を検討する中で、新型コロナウイルスの感染が拡大し、人と人のコミュニケーションの取り方が様変わりしました。本来「焼酎=お酒」はコミュニケーションツールであり、お互いをよく知らない人同士でもお酒を飲みながら会話をすることで仲良くなれるものですが、これまで当たり前だったこのような機会が減少しました。また、飲み屋やスナックなどの飲食店が敬遠され、大きなダメージを受けました。

そこで今回、新宿にあるBEAMS JAPANから程近く、日本のサブカルチャーやアングラ芸術の発信地である新宿ゴールデン街の魅力を発信したい、お酒がある楽しい時間を大切にしたいと考え、この企画を発案いたしました。この状況が落ち着いた日には、また、みんなで楽しく美味しいお酒が飲めますように。

■新宿ゴールデン街の新看板について

2020年12月1日（火）より順次、三光商店街内にある6つの看板（「あかるい花園一番街」「あかるい花園三番街」「あかるい花園五番街」「あかるい花園八番街」「まねき通り」×2ヶ所）が「新宿ゴールデン街」と記された新看板に変更されます。

変更前



変更後



■新宿ゴールデン街の新看板について

2020年12月1日（火）より順次、三光商店街内にある6つの看板（「あかるい花園一番街」「あかるい花園三番街」「あかるい花園五番街」「あかるい花園八番街」「まねき通り」×2ヶ所）が「新宿ゴールデン街」と記された新看板に変更されます。



■新看板のデザインを担当 BEAMS デザイナー 中村杏子 コメント

『街のイメージがパッと明るくなるような看板デザイン』

華やかな橙色を全体に使用した、街のイメージがパッと明るくなるような看板デザインです。また、橙色は「代々栄える」の意味をもつ縁起のよい色でもあります。歴史ある街の象徴として、ロゴタイプは旧看板の復刻デザインを使用し、ゴールデン街の名前の由来でもある金貨をイメージした黄色をポイントにあしらっています。

■「焼酎のススメ。2020」概要

2019年に初開催した「焼酎のススメ。」プロジェクトは、高橋酒造株式会社の米焼酎「白岳KAORU」、三和酒類株式会社の麦焼酎「いいちこ」、薩摩酒造株式会社の芋焼酎「白波」のそれぞれの美味しさや奥深さに加えて、お酒がある時間の自由で楽しい過ごし方を、架空の「スナック びーむす じゃぱん」より発信しました。

2度目の開催となる「焼酎のススメ。2020」では、お笑い芸人でありながらアーティストとしても世界中から注目されるくっきー！さんが、BEAMS JAPANオリジナルパッケージのカップ焼酎3種とTシャツのデザインを描き下ろしました。新宿のBEAMS JAPAN店舗では、「スナック びーむす じゃぱん」が新宿ゴールデン街にあったらという設定で、ポップアップショップが登場します。

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大で飲食店街が苦境に立たされる中、「焼酎のススメ。」プロジェクトとしても、日本の飲み屋文化を支える人たちの一助になりたいと思い、この度名称統一される新宿ゴールデン街の看板のデザインを担当しました。世界中の文化人に愛されてきた唯一無二の存在である新宿ゴールデン街という場所が、今後も変わらず文化をつなぎ、また新たな文化が生まれる街であり続けることを願います。

「焼酎のススメ。」では、焼酎業界をリードする3社とBEAMS JAPANのアライアンスにより、焼酎への馴染みが薄い方々へ向けて、焼酎そのものに加えてさまざまな飲み方や、スナックをはじめとした焼酎を楽しむ空間や時間の魅力を発信していきます。

□実施内容

- 限定アイテム販売
 - オリジナルパッケージの「白岳KAORU」「いいちこ」「白波」カップ焼酎
 - アパレルグッズ9種
- 店舗でのコーナー展開
 - ビームス ジャパン（新宿）店舗での「スナック びーむす じゃぱん」ポップアップショップ
 - ビームス ジャパン 渋谷、ビームス ジャパン 京都、ビームス 熊本、ビームス 大分、ビームス 鹿児島での特設コーナー
- 新宿ゴールデン街の新看板デザイン（BEAMSが新看板のデザインを担当）

□期間 2020年12月1日（火）～ ※店舗によって開催期間が異なります

□販売店舗

- ビームス ジャパン（新宿）、ビームス ジャパン 渋谷、ビームス ジャパン 京都：2021年1月6日（水）終了予定
- ビームス 大分、ビームス 熊本、ビームス 鹿児島：12月13日（日）終了予定 ※左記3店舗はアパレルグッズのみ販売
- ビームス公式オンラインショップ www.beams.co.jp

□特設サイトURL www.beams.co.jp/special/teamjapan/shochu/

■ BEAMS JAPANとは

日本の良さや面白さを世界へ発信するプロジェクトとして2016年にスタート。新宿、渋谷、京都のBEAMS JAPAN 3店舗を拠点に、日本の技術が光るプロダクト、伝統に裏付けされた各地の名品、モダンカルチャーやアートに加え、こだわりのオリジナルウェアなどのファッションアイテムも集積し、日本のモノやコトの魅力を国内外に発信しています。

これまでに兵庫県神戸市や大分県別府市、愛知県名古屋市や福島県などの地方自治体や、異業種の企業ともコラボレーションを行い、店頭イベントに加えて商品開発やガイドブックの発行など、数多くのプロジェクトに取り組んでいます。